

夏休み子ども科学研究室「くだものの味をくらべよう！！」の開催

果樹研究センターでは、8月7日に小学3～4年生10名が参加して、「くだものの味をくらべよう！」と題し、夏休み子ども科学研究室を開催しました。曇り空の下ではありましたが、連日の猛暑を思うと、少し過ごしやすい気候の中での開催となりました。子ども達は真剣に果物が育っている様子を見学し、にぎやかな雰囲気の中、2品種のモモの収穫作業体験を行いました。



モモの収穫作業体験



収穫したモモの重さを計測！

実験室では、果樹研究センターで育ったモモ、ナシ、リンゴ、ブドウなど色々な果物を試食して、実際に食べたときに舌で感じる「甘さ」や「すっぱさ」と、計測器で測った「糖度」や「酸度」を比べました。食べてみて感じる味と計測器の数値で見ると味の違いに驚きながら、果物の種類や品種、熟度による味の違いについて学びました。

参加した子ども達からは、「初めてのモモの収穫、色々な実験が楽しかった。」「たくさんのくだものを比較でき、興味深く実験できた。」等の感想がありました。保護者の方からは、「身近な果物、飲み物の糖度、酸度を楽しく真剣に調べる実験で、良い思い出となった。」「自由研究の参考にしたい。貴重な経験となった。」との声がありました。



果物の試食と糖度や酸度の測定

